

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年6月13日
【四半期会計期間】	第48期第1四半期（自平成26年2月1日至平成26年4月30日）
【会社名】	株式会社 光彩工芸
【英訳名】	KOSAIKOGEI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深沢 栄二
【本店の所在の場所】	山梨県甲斐市竜地3049番地
【電話番号】	0551-28-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部部長 吉田 貴
【最寄りの連絡場所】	山梨県甲斐市竜地3049番地
【電話番号】	0551-28-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部部長 吉田 貴
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第1四半期連結 累計期間	第48期 第1四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自 平成25年 2月 1日 至 平成25年 4月30日	自 平成26年 2月 1日 至 平成26年 4月30日	自 平成25年 2月 1日 至 平成26年 1月31日
売上高 (千円)	626,986	785,592	2,666,146
経常利益 (千円)	5,525	18,600	13,823
四半期(当期)純利益 (千円)	3,408	15,733	7,533
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	6,192	14,398	11,979
純資産額 (千円)	1,421,336	1,428,332	1,427,101
総資産額 (千円)	2,015,945	2,002,435	1,975,110
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	0.91	4.20	2.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	70.5	71.3	72.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などにより、引き続き緩やかな景気回復の動きが見られました。一方、海外においては、アジアや東欧などの新興国で政情不安が見られるなど、わが国を取り巻く経営環境は依然として不透明なものとなっております。

宝飾業界におきましても、個人消費の持ち直しや消費税増税前の駆け込み需要により、景況改善の兆しが見られましたが、市場全体にその影響は及ばず、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような、経済情勢のもと、当社は、ジュエリー事業及びジュエリーパーツ事業ともに受注が堅調に推移したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同四半期と比べ大幅増益となり黒字を確保することができました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高785百万円（前年同四半期比25.3%増）、営業利益19百万円（前年同四半期比892.0%増）、経常利益18百万円（前年同四半期比236.6%増）、四半期純利益15百万円（前年同四半期比361.6%増）となりました。

（2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計期間年度末と比べ27百万円増の2,002百万円となりました。主な変動は、たな卸資産の増加23百万円等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計期間年度末と比べ26百万円増の574百万円となりました。主な変動は、未払金の増加18百万円等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計期間年度末と比べ1百万円増の1,428百万円となりました。主な変動は、利益剰余金の増加2百万円等によるものです。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,000,000
計	13,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年4月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年6月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,960,000	3,960,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	3,960,000	3,960,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年2月1日～ 平成26年4月30日	-	3,960	-	602,150	-	509,290

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年1月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年1月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式213,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式3,735,000	3,735	同上
単元未満株式	普通株式 12,000	-	同上
発行済株式総数	3,960,000	-	-
総株主の議決権	-	3,735	-

【自己株式等】

平成26年1月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社光彩工藝	山梨県甲斐市 竜地3049番地	213,000	-	213,000	5.38
計	-	213,000	-	213,000	5.38

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年2月1日から平成26年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年2月1日から平成26年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	431,194	422,929
受取手形及び売掛金	387,127	395,411
たな卸資産	671,872	695,217
その他	8,293	19,401
貸倒引当金	393	385
流動資産合計	1,498,094	1,532,574
固定資産		
有形固定資産	325,956	338,047
無形固定資産	2,667	2,557
投資その他の資産	140,817	123,428
固定資産合計	469,442	464,033
繰延資産	7,573	5,828
資産合計	1,975,110	2,002,435
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,958	33,913
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	30,024	29,884
未払法人税等	6,224	4,222
引当金	-	7,050
その他	69,372	92,908
流動負債合計	457,579	487,978
固定負債		
長期借入金	40,718	33,352
退職給付引当金	21,270	22,250
役員退職慰労引当金	23,175	23,616
その他	5,265	6,905
固定負債合計	90,428	86,123
負債合計	548,007	574,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	336,474	339,095
自己株式	30,124	30,179
株主資本合計	1,417,790	1,420,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,047	3,711
為替換算調整勘定	4,264	4,265
その他の包括利益累計額合計	9,311	7,976
純資産合計	1,427,102	1,428,332
負債純資産合計	1,975,110	2,002,435

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	626,986	785,592
売上原価	535,570	673,462
売上総利益	91,416	112,129
販売費及び一般管理費	89,487	92,990
営業利益	1,929	19,139
営業外収益		
為替差益	3,814	-
その他	574	525
営業外収益合計	4,389	525
営業外費用		
支払利息	791	786
為替差損	-	6
その他	1	270
営業外費用合計	793	1,063
経常利益	5,525	18,600
税金等調整前四半期純利益	5,525	18,600
法人税等	2,117	2,867
少数株主損益調整前四半期純利益	3,408	15,733
四半期純利益	3,408	15,733

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,408	15,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,324	1,336
為替換算調整勘定	1,459	1
その他の包括利益合計	2,783	1,335
四半期包括利益	6,192	14,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,192	14,398
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
減価償却費	7,257千円	6,744千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月24日 定時株主総会	普通株式	9,369	2.5	平成25年1月31日	平成25年4月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年4月24日 定時株主総会	普通株式	13,113	3.5	平成26年1月31日	平成26年4月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円91銭	4円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	3,408	15,733
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	3,408	15,733
普通株式の期中平均株式数(株)	3,747,409	3,746,697

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年6月12日

株式会社光彩工芸

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 健文 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中田 啓 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社光彩工芸の平成26年2月1日から平成27年1月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年2月1日から平成26年4月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年2月1日から平成26年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社光彩工芸及び連結子会社の平成26年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。